



「感染拡大」を防ぐために

先日の臨時休校やその後の自宅待機等、急な対応にご協力いただきありがとうございました。いまなお、自宅療養や自宅待機でご協力いただいている方もあります。感染拡大を防ぐ取り組みへのご協力に、心より感謝申し上げます。

市内においても感染が急拡大する中、状況に応じて対応も変わってきています。現段階において、お願いしたいことをお伝えします。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

積極的な「念のため欠席」をお願いします

連日、「上の子が風邪気味のため、下の子も一緒に欠席させます」「下の子の園で感染者が出たため、念のため欠席します」というご連絡をいただいています。こういった『念のため欠席』をしていただくことが、後に感染が判明した時に「感染可能期間に登校していないため、校内で接触者等はいません。通常の日課で教育活動を継続します」という結果につながります。「鼻水が出る」や「のどが痛い」といった軽く見える症状でも、後に陽性となるケースもあります。万が一の感染を考え、後の感染拡大を防ぐためにも、少しでも体調に不安がある場合は、きょうだいを含めた『念のため欠席』にご協力ください。この場合の欠席は、現段階では『出席停止』扱いとなり、欠席とはなりません。



なお、風邪等の症状で欠席している児童のきょうだいが出席している場合、学校から連絡し、お迎えのお願い等をさせていただきます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

感染力が非常に強い現在のウイルスからお互いを守るためにも、ご協力をお願いいたします。

子どもたちが「自らを守れる」よう、お声掛けをお願いします

先日、学校で検査を行ったケースでは、『全員陰性』となりました。学校やご家庭における感染症対策に加え、子どもたち自身が気をつけていることが功を奏したのだと感じました。

ただ、「気をつけていても感染する」のが今の感染爆発の現状です。かといって、特別な感染対策があるわけではありません。**基本的な感染症対策を丁寧に行いながら、学校でも取り組みを進めます。**

子どもたちの様子を見ていると、登下校や休み時間など、心配になる姿が時々見られます。

- 友だちと密接して遊ぶ。
- 屋外で、マスクを外したまま、近づいて会話をする。
- 前後に手洗いをしないまま、遊び道具の貸し借りをする。

大人の目が届かない場面では、自分で気をつけ、自分で身を守るしかありません。密接、マスクなしの会話、ものの共有、換気不十分など、危険なことに自分で気づき、また友だちと声をかけ合って、自らを守れるよう、ご家庭でもお声掛けをお願いいたします。



みんなが大切な「協力者」です

自らの風邪症状や感染症で「療養」している人、保健所等の指示で「自宅待機」している人、ご家族の風邪症状等により「念のため欠席」している人など、現在、相当数の児童が自宅にいます。感染者情報などが入ると、「誰が感染したの？」と気になる場合もありますが、学校では、現在欠席している人はすべて、学校に「出席」して感染症対策に取り組んでいる人と同じく、「感染を広げない」という共通の目的のため、自分にできることに取り組む大切な「協力者」だと伝えていきます。



いわゆる「コロナ差別」などで誰かが辛い思いをするのではなく、みんなで力を合わせて感染症と闘っている、そんな気持ちでいられるように、と願いながら子どもたちに話しています。

ご家庭でも、みんなが大切な「協力者」というスタンスでお話しいただければ幸いです。

感染者発生時等についてのお願い

みんなで力を合わせ、感染症対策に取り組んでいても、いつ感染の連絡が入ってくるかわからないのが今の感染爆発状態です。教育委員会からの指示等も交え、以下についてお願いします。

急な「臨時休校」や「緊急下校」が起こり得ます

児童に感染が確認されると、保健所から教育委員会を通じて「緊急下校」や「臨時休校」の指示が学校に入ります。感染拡大の可能性がある場合、子どもたちを守るためにとられる緊急措置です。緊急下校や臨時休校になった場合、各ご家庭でどのように対応するか、普段からご準備、ご相談いただきますようお願いいたします。

遅い時間からの連絡がまいります

臨時休校や検査結果の通知等の連絡は、保健所の作業が完了後行われます。状況によっては、遅い時間に「明日は休校」の連絡や、検査結果が遅い時間までわからない、ということもあります（他校で、夜9時頃に検査結果が判明、というケースもあったようです）。



保健所は、学校の状況も考慮して可能な限り早急に情報を伝えてはいますが、それでも遅い時間となることがあります。教職員もジリジリしながら待っています。学校や教育委員会にお尋ねいただいても、「保健所からの連絡待ちです」としかお答えできません。

「非常事態」とも言える現状の中、何とぞご理解いただきますよう、お願いいたします。

自宅待機の期間が長くなることもあります

他校で、検査の結果、新たな陽性者が出て、その学級全体が「濃厚接触者」と判断され、自宅待機期間が延長されたケースがあったそうです。自宅待機については、不安もご家族の負担も大変大きいです。それでも感染拡大を防ぐため行われる自宅待機期間について、お子さんが少しでも安心できるよう、また学習の補充ができるよう、学校でも努力していきます。

具体的には、担任から学習課題を伝えたり、学校とオンラインでつないで話したりしていきます。学習方法については、学習効果やお子さんの集中力持続、長時間タブレット画面を見続けることの影響、ご家庭の状況など考慮して考え、お伝えし、進めていきます。ご心配なことは、遠慮なくご相談ください。

今号はすべてコロナ関係の内容となりました。お願いばかりで心苦しいのですが、すべては子どもたちの「元気」を守るためです。ご理解・ご協力のほど、お願い申し上げます。